



「こんにちは 市長です」

9月1日号

朝、テレビのBS1をつけるのが習慣。国際放送があって世界の放送局からのトピックスが流れる。今日はアフガニスタンのタリバンだ。アメリカ軍が撤退してタリバンが全土を制圧。ギリシャの山火事。ちょっと前まではイギリスのコロナ事情、最近はトップ記事から消えた。出勤前は事務所に寄って、テレビ朝日かTBS。この日のトップは西日本の豪雨、順天堂病院とその周りが水没。そして「コロナ」という順番。朝からテレビ漬け？で大丈夫かと言われそうだが、これがなかなかいい。ヒントがあって加工すれば結構使える。

「国がタダで抗原検査キットをくれる。保育園で申し込みをとったらこんなにも」「多いね。だけど幼児の鼻の中をゴリゴリってやって危なくない？」「ですよね」。小中学校では口内の唾液で検査することに決めた。「あれの方がいいんじゃない？もう一度聞いてみたら？」「そうしましょうか」ということになった。コロナの陽性者が増えている。昨日は太田で25人。病院がいっぱいになって自宅療養が増えてきたらパルスオキシメーター（血中酸素濃度計）をまず配る。次はどうする？とはいえ、自宅療養はまずい。ホテルの確保、ホテルはドア付きで効率悪いから福井県のように体育館を療養施設に、どこかの空き施設はあったかな？こんなことを考えながら出勤する。出勤してすぐに部長を呼んだ。今朝、気になったことを保健所に聞いてもらった。「パルスオキシメーターは在庫有り。感染者は自宅療養せずに入院もしくはホテルが用意してある。追加のホテル借り上げも考えている」とのこと。県は十分な手だてをしている。ありがたい。

緊急事態を宣言すると感染者が増える。どういうこと？国民へのお願いだけではなく、そろそろ国が政策を出す番ではないですか。あれから1年半ですよ。（8/17記）